

山形新聞社の許可を得て掲載

4年ぶり出場 新庄北 一騎打ち制しV

距離男子40キロリレー

○…距離男子40キロリレーは4年ぶりの出場となった新庄北が、新庄南金山との一騎打ちを制した。唯一の3年生遠藤雅空(がく)はこのメンバーなら全国大会でも上位に行ける。表彰台を目標とした走りをしたい」と高みを見据えた。

1走柿崎仁は金山の実

力者に先行を許したが、「1分以内の差なら想定通り」。49秒差で2走遠藤にリレーすると、30秒差まで縮めて1年生の2人に逆転を託した。

3走の安西思温は「勝負の区間になると事前に考えていた」と話す。徐々に先頭との差を詰めるのに5分過ぎの登りで一気に

かわした。アンカーの矢口琥太郎は「ゴールするまで不安で仕方なかった」と仲間の思いを背負う重圧に苦しみながらも、後続をさらに突き放し、右手を掲げてゴールした。

「もっとベストな滑りをしないと上位には届かない」と矢口。安西は「実力者がそろった全国の舞台も、怖がらずに挑んでいきたい」と表情を引き締めた。

(半田徹)



〈距離男子40キロリレー〉新庄北の1走柿崎仁(左)が2走遠藤雅空にリレーする
＝上山市・坊平高原クロスカントリー競技場